

主な議案の概要

平成27年度熊本市一般会計予算を可決

〈主な事業〉

- 町内防犯灯のLED機器への取替え経費助成 ……1500万円
- 中学校の普通教室への空調設置設備設計経費 ……5500万円
- 家庭的保育事業実施のための施設改修費助成及び家庭的保育者等への研修経費 ……580万円
- 生活困窮者に対する自立・家計相談、一時生活、就労準備及び学習支援経費 ……6357万7千円
- 重度障がい者に対する自家用車燃料費助成 ……1140万円
- (仮称)植木地域農産物の駅建築事業関連経費 ……1868万円
- 県民百貨店等の閉店に伴う入居テナントに対する商店街空き店舗への移転に係る改装費助成 ……1000万円
- 桜町地区再開発事業に対する助成等 ……9億4700万円
- 熊本桜町再開発株式会社に対する貸付金 ……20億円

平成26年度熊本市一般会計補正予算を可決

〈主な事業〉

- まち・ひと・しごと創生総合戦略策定のための委員会開催及び人口ビジョン策定のための調査経費等 ……1000万円
- 硝酸性窒素削減対策としての家畜排せつ物処理施設整備基本設計等業務委託料 ……1800万円
- 商店街等が行うプレミアム付商品券発行経費に対する助成等 ……5億7000万円

市民税控除となる寄付金を受け入れる特定非営利活動法人の指定基準を制定

地方税法の改正により、本市が指定するNPO法人に対する寄付金の一定額を、個人住民税から控除できるようになり、指定するNPO法人の基準、手続等を定める条例を制定しました。

※このほかの議案などの審議結果は、熊本市議会ホームページをご覧ください。

本会議質問から

第1回定例会では、6人の議員が質問を行いました。主な質問事項は次のとおりです。なお、質問の詳細は熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

自民党



坂田 誠二議員

質問 1 平成27年度当初予算について
市長就任後初めての予算編成は、どのような点に意を用い、どのような分野に大西カラーを出しているのか。

答弁 マニフェストを可能な限り盛り込むことで、「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」の実現に向けた第一歩となる予算が編成できた。

質問 2 MICE(※1) 施設整備の機能について
大規模学会等で不可欠な会食(バンケット)機能が不十分と感じる。整備効果を高めるためにも再検討できないか。

答弁 バンケット機能の導入は、必要と考えていたところ。議会からの要望も、再開発会社へ依頼済。再開発会社は、検討を進められている。



くまもと未来



田中 誠一議員

質問 1 市電延伸について
本市のシンボルである環境に優しい市電について、新年度に実施する市電延伸の調査内容及び重要と考えるポイントは。

答弁 ハード面だけでなく、運営上の課題等のソフト面を含め、実現化に向けた課題をしっかりと洗い出すことが重要なポイントと考えている。



〔川尻公会堂〕

質問 2 川尻地区川尻公会堂の改修整備について
川尻公会堂の従来の姿を残すため、木造補強による工法を取り入れた改修整備の概要と今後のスケジュールは。

答弁 地元要望を整理し、施設の機能低下を抑えた木製による補強壁等の耐震工法を基に、27年度設計、28年度改修工事を考えている。

市民連合



田尻 将博議員

質問 1 市長の政治姿勢と市政運営について
「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」の実現に向け、市長は今後、どのような政治姿勢で市政運営に取り組むのか。

答弁 市民ニーズを捉えた市政運営を行い、暮らしやすい都市を実現するため「聞く姿勢・話す姿勢・動かす市政」を心がけ、取り組む。

質問 2 交通局の組織改善について
慢性的な乗務員不足を解消し、市電の円滑な運行を図るため、今後、正規職員を採用し組織体制の改善を求める。

答弁 交通局の次期経営計画を策定する中で、持続可能な事業運営を継続していく観点から職員体制について検討していきたい。



公明党



園川 良二議員

質問 1 地方創生戦略について
人材の確保、周辺市町との連携、子育てしやすいまち及び交流人口増加に向け、今後どのように取り組むのか。

答弁 国、市、地域の人材を結集し、連携中枢都市圏構想の推進、子育て環境の充実、MICE誘致などに取り組んでいく。

質問 2 待機児童対策の保育士確保について
施設整備により保育定員が増えることで保育士不足が懸念される。保育士確保にどのように取り組んでいくのか。

答弁 新年度は、これまでの確保策に加え、認定子ども園教諭確保のための免許状取得支援や、子育て支援員の資格取得研修に取り組む。



共産党



益田 牧子議員

質問 1 市民病院耐震建替え凍結方針の撤回について
市民病院の建替え凍結方針を撤回し、国と県から財源を確保し、一日も早い着工に向け万全を期すべき。

答弁 新たな病院経営改革プランの策定等を通じ、事業費の削減だけでなく長期的な病院経営についても視野に入れ判断する必要がある。



〔現在の熊本市市民病院〕

質問 2 中学卒業まで子どもの医療費無料化実現を
熊本市圏13自治体で最低水準の医療費助成は、500円の自己負担をなくし、年度途中でも中学生まで拡充すべき。

答弁 効果的かつ持続可能な制度となるよう慎重に検討を行い、できるだけ早く案を示し、議会や市民の声も伺った上で成案を固めたい。

自由クラブ



北口 和皇議員

質問 1 江津湖や中心市街地での花火大会復活を
多くの市民が花火大会の復活を待ち望んでいる。今後、安全対策等に万全を期し、早期実現を求める。

答弁 観客の安全確保をはじめ様々な課題の解決を図りながら、今年の8月下旬に下江津湖周辺での開催を目指し、成功に向け全力で取り組む。



質問 2 水前寺地域と江津湖公園の一体的な利活用を
水前寺から江津湖一帯をスポーツや観光・文化の交流拠点として一体的に整備し、その魅力を国内外にPRすべき。

答弁 水と緑の都市くまもと、観光都市くまもとをアピールするため、魅力ある水前寺地域や江津湖周辺の一體的な整備に取り組む。

この用語って何?



- MICE(※1) …企業等が行う会議や研修旅行、国際会議や学会など、多くの集客が見込めるイベントの総称。
- ぶら下がり取材(※2) …会見場やホテルなどを使う通常の記者会見とは異なり、記者が取材対象者を取り囲んで行う取材方式。
- シンボルプロムナード(※3) …“車中心”から“人中心”の考え方への転換の象徴として、歩行者空間化する道路(通称シンボルロード)と隣接する建物の壁面が後退することにより生まれる公共的な空間をあわせた総称。
- UIJターン(※4) …大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻る形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態を指す。
- 社会的包摂機能(※5) …生活困難を抱えた人間を社会的に排除しないで、社会的に包み込もうというもの。
- 生活支援コーディネーター(※6) …生活支援サービスの充実及び高齢者の社会参加に向けて、ボランティア等を養成・発掘するなど地域資源の開発や地域支援の調整を行う者。
- ハザードマップ(※7) …自然災害により発生が予測される被害について、その種類・場所・危険度などを示した地図。災害予測地図。